

労災ケア通信

第85号

2023年11月27日

発行：一般財団法人
労災サポートセンター

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510(代表)

FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス

<https://www.rousaic.or.jp>

心をゆり動かされました

第18回労災重度被災者作品展を開催しました

令和5年9月26日から10月1日

までの6日間、愛知県名古屋市にある「愛知芸術文化センター8階愛知県美術館ギャラリー展示室G」において、「第18回労災重度被災者作品展」(リハビリからアートまで)を

開催しました。

この作品展は、労働災害で重度の障害を負った方々が、多くの困難を克服し制作した作品を展示するもので、毎年、中央労働災害防止協会が主催する全国産業安全衛生大会

に合わせ開催しています。作品展には、63名の方々が125点の作品が展示されました。

そのうちケアプラザ(岩見沢、富谷、四街道、瀬戸、堺、呉、新居浜、宇土)の入居者32名の方から60点の作品が寄せられました。



展示風景

展示会場には、作品を出展されたご本人やそのご家族、全国産業安全衛生大会に参加された

れた企業の安全衛生担当者など二百名を超える方々が来場され、作品を熱心に鑑賞されていました。来場された方からは、

「障害にあっても何かをしようとして力強く表現されている姿に感動、感謝です。」

「被災しても、負けないで力強く生きていく姿に、心うたれた。」

「リハビリとはいえ、アート作品として立派な作品になっている事に感動します。」

「大変すぎる作品ばかりでした。」
「重度の方の作品展初めて知りました。力強くこちらが元気をいただきました。」

「お一人お一人の人生があり、そこに生きる姿が伝わってくる様で、

心をゆり動かされました。」

など、多くの感想をいただきました。今回、作品を出展して下さった方々、出展にあたりご協力いただいた各施設の皆様、また、作品展にご来場いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

今号は、紙面の都合上、展示風景のみ掲載させていただき、次号で出展作品を紹介させていただきます予定です。

ケアプラザ日より

ケアプラザ岩見沢

「インターンシップを通して」

岩見沢農業高校 2年 渋谷 光

私の叔母が介護の仕事をしており、小さいころから話を聞いていた事がきっかけで、介護に興味を持つようになりました。

しかし、その印象は「夜勤が大変」や「覚えることが大変」ということでした。ですが、人と接する事



左が渋谷さんです

が好きな私は、学校行事で介護を学ぶ機会があれば積極的に参加し、実際に車椅子に乗ったり、体を不自由にして歩くなどの体験をしてみました。

今回の職場体験は10月11日～13日の3日間で凄く緊張しましたが、明るく挨拶してくださいる職員の方々には元気をもらいました。気になる事やわからない事も丁寧に教えてください、とても勉強になりました。また、入居者の方々からも明るく話しかけてもらい、凄くやりがいを感じられました。

将来のためにも勉強になった3日間でした。夢を叶えられるよう頑張りたいと思います。

『救命講習』を実施して

介護課

ケアプラザ岩見沢には、65歳以上の入居者様が62名、そのうち75歳以上

上が31名と入居者様の80%が高齢で、労災の傷病の他にも、様々な病を持つている方も多くいらっしゃいます。4月以降、急変対応することが複数回あったこともあり、職員全体で急変時の対応ができるようになりたい、との思いが強くなりました。

こういったことから、8月23日(水)、岩見沢消防署の救急救命士を講師に迎え、『基本的な胸骨圧迫とAEDの使い方を知り、急変時の対応ができるようになる』と題した職員研修を実施しました。

研修では、過去5年間の施設からの救急搬送状況について報告があり、その後参加者全員が、『胸骨圧迫』と『AEDの使用』を行いました。机上での学習だけではなく実践することで、手を当てる位置、圧迫



もっと強く押して下さい

の強さ、速さなどを理解することができました。今回の研修では、

全員が受講することができませんでしたが、改めて研修を実施するなどし、スタッフ全員の緊急時対応のスキルアップを図っていきたいと思います。

「納涼祭」

総務課

令和5年8月2日(水)、納涼祭を開催しました。

新型コロナウイルスの感染対策が引き続きとられているため、昨年に引き続き「夏のお楽しみ会」として施設内でゲームを楽しんでいただくことにしました。

昨年の経験を踏まえ、居住棟各階ごとに受付時間を変える工夫をしたところ、どのコーナーも混雑することなくスムーズに流れました。



福引

では福引と紐引き、2階の廊下では、スタンプラリーを行いました。

今年は、スタンプラリーのゴール地点で一口アイスが振舞われました。

暑い日だったこともあり参加された方々は、アイスが口の中に入ると笑顔になっていらっしゃいました。

ケアプラザ富谷

「秋のウォークラリー & 焼き芋会」

総務課

10月4日(水)、「秋のウォークラリー」を開催しました。当日は雨が心配されましたが曇り空の中、施設外周を多数の入居者の方々と散歩することができました。

散歩途中には、秋に係るクイ



スタンプラリー



紐引き

ズを5間
 設け、皆
 でワイワ
 イ答えを
 話し合い、
 頭の体操
 にもなり
 ました。
 ちなみに
 全問正解
 された方
 は1名で
 した。で
 は、ここ
 で、クイ
 ズの一部を紹介します。

『おいしいサンマは、
 くちばしが何色でしょうか?』
 ①赤 ②青 ③黄色
 どうでしょう?』

おわかりになりますか?
 入居者様より「クイズ、思ったよ
 り難しく真剣に考えた、楽しかつ
 たよ。」と、感想がありました。
 散歩後は、正面玄関前でクイズの
 答え合わせをしながら、恒例の焼き
 芋を食べ、秋を満喫しました。

(クイズの答えは③)



焼き芋の様子 (出来上がり待ち)



ウォークラリースタート
 「第一回目」

「紅葉をみる会」

総務課

秋晴れのさわやかな季節となつて
 きた10月18日(水)、入居者の皆様
 と「紅葉をみる会」で、せんだい農
 業園芸センターへ出かけました。
 まず驚いたのが、入り口にある巨
 大な虎の顔の藁アート! 藁で作ら
 れたとは思えない迫力で、参加者の
 皆様は入園前からすっかり心を奪わ
 れていました。



コスモスの前にて



恐竜の藁アート

残暑のせいかバラの咲き始めが遅
 れていましたが、バラやコスモスが
 数多く咲
 いていて、
 品種のプ
 レートを見
 ながら「こ
 れは日本
 の品種だ。
 」。「素敵
 な名前だ
 だね。」と
 楽しみな
 がら散策
 しました。
 最後は
 今回のメ

ケアプラザ四街道

「秋の遊びリテーション」

介護課遊びリテーション担当

10月19日(木)、さわやかな秋晴
 れとなつたので、屋外で遊びリテ
 ションを実施しました。
 遊びリテーションでは、ラジオ体
 操、クイズ、口腔体操を主に行つて
 いますが、今回はクイズとして、「秋
 といえば思いつくもの10個」とい



イン、藁アートゾーンへ。入口にあ
 った虎よりも大きな恐竜やゴリラな
 ど、今にも動き出しそうな精巧さで、
 思わず立ち止まって見入る方が多く
 いらつしゃいました。
 今後とも入居者の方々が、季節を感
 じ楽しめる行事をすすめていきたい
 と思います。

「納涼祭カフェ」

行事実行委員会

8月2日(水)、入居者の皆様と
 職員で「納涼祭カフェ」を開催しま
 した。

お祭りを演出するため、会場とな
 ったコミュニケーションホールを縁日風
 に装飾し、職員手作りのチョコバナ
 ナ・フルーツジュース・フルーツパ
 フェを提供しました。

昼食後の開催でしたが、本格スイ



お題にしたところ、秋模様の敷地内
 を眺めながら、たくさんのお返事を入
 居者の皆様からいただきました。
 屋外で行う口腔体操は、口を大き
 く開け思いっきり発声することがで
 きるため、とても効果があります。
 これからも季節を感じながら遊び
 リテーションを実施していきたいと
 思います。

「甘いものは別腹」と、皆様笑顔を見せて美味しそうに召し上がっていました。



ケアプラザ瀬戸

「屋外での遊びリテーションを開催しました!!」

理学療法士

施設では【遊びリテーション】として、入居者様といっしょに書道や折り紙などに取り組んできましたが、徐々に屋外での遊びリテーションを、8月23日(水)に開催する



ことができました。

入居者様と理学療法士、介護福祉士がいっしょに散歩し、季節の移ろいを全身で感じながら、楽しくコミュニケーションをとり、散策しました。

入居者様に元気で過ごしていただけるように、と願いながら、これからも介護(リハビリ)に努めてまいります。

「第18回労災重度被災者作品展の観覧」

総務課・介護課

令和5年9月26日から10月1日まで、愛知県美術館で第18回労災重度被災者作品展が開催されました。同じ県内での開催ということもあり、観覧を希望される入居者様を募り出かけることとしました。

10月1日(日)、入居者様6名と施設長、総務課長、介護課長で出発です。

午後1時に出発し、午後2時頃に愛知県美術館に到着、その後1時間ほど作品展を観覧しました。皆様、とても興味深そうに作品を見ておられました。

ご自身が出展された作品を嬉しそうに眺め、一緒に写真に納まる入居者様、他の重度被災者の方が作成された作品に触発され、「今後、自分もよりいっそう頑張らないと!!」と、話しておられた入居者様など、いろいろな感想を持たれたようです。□々に作品展を観覧できてよかったと言っておられ、このような機会を設けることができ良かったと感じました。

□□ナ禍で施設の外へ出ることも



できなかつた入居者様にとっては、車窓からの景色も新鮮に感じられたようです。今後も入居者の方々が楽しめる行事に積極的に取り組み、皆様の方に安らぎが生まれるよう、

職員一同努めてまいります。

ケアプラザ堺

「初秋の定期健康診断にて」

介護課

9月20日(水)に入居者の方々の入居者健診を実施しました。定期健康診断は、年に一度健康状態を確認し、病気を予防する目的で実施している大切な事業です。

健診当日は三密

に注意し、入居者の皆様が一列に並び、健診を受けられるよう、健診順序を工夫しました。入居者の方々は、「胸部デジタル



健診の順番を待つ入居者の方々

胸部デジタル検診車(リフト付き)

ル検診車へのトランスも大変そうだったけど、スムーズに対応してくれた。「採血は手際よく対応してくれた。スタッフの言葉遣いも丁寧で良かった。」「毎年健診でレントゲン撮影してもらえるから安心やわ。」等のお声や感想をいただきました。

健診結果は担当医がしっかり確認し、入居者の方々の健康管理に役立てていきます。

「和菓子移動販売車が

やって来たよ!!

介護課

9月13日(水)、入居者の方々の望の和菓子移動販売車がケアプラザ堺にやって来ました。

並んでいたのは、季節を感じさせる10種類の和菓子です。

入居者の方々から、「自分の好きなものを選んでうれしかった。」等、たくさん



和菓子移動販売会場風景

の喜びの声をいただき、好きな和菓子を選びながら、初秋のひとときを楽しく過ごされていました。

初企画ながら大好評をいただいた和菓子移動販売。入居者の方々は、「次はいつですか?」との声もいただきました。

お店は大盛況で、開店から一時間半で商品が完売し、第2弾がまちどおしい企画となりました。

ケアプラザ呉

「納涼お食事会」

介護課

8月2日(水)、毎年恒例の納涼お食事会を開催しました。食堂に職員手作りの折り紙細工やひまわりなど、夏らしい飾りつけをして入居者の方々をお迎えました。



今年特別食として松花堂弁当



を提供しました。鶏のから揚げ、白身魚の塩焼き、煮物、海老と穴子のちらし寿司など9種類と品数も豊富で、若者から年配の方にも喜ばれるメニューでした。

もう少し食べたいという方のためにアメリカンドック、たこ焼き、冷やしそうめん、アイスクリーム3種、ロールケーキ2種、抹茶ゼリー、フールドリンクなどのバイキングも用意しました。特にアメリカンドック、たこ焼き、冷やしそうめんが好評で、お食事会終了間際まで、ご自身で選ぶ楽しさや、味を満喫される方が多数おられました。

入居者の方々の喜ぶ顔を見ることができ、時間をかけて準備をして良かったと感じることができました。

「お茶会」

介護課

9月6日(水)、食堂にて「お茶会」を開催しました。自由参加とし

ましたが、当日は24名の入居者の方々が参加されました。

お茶会のお茶請けは、シュークリーム、マドレーヌ、アイスクリームプリン、どら焼き、酒まんじゅうなど9種類をご用意しました。

入居者の皆様には、この中から自由に食べたい物を選んでいただきました。中には「こんなにある。どれにしよう。」と嬉しそうに悩まれる方、「美味しい。もう少し食べたい。」とおかわりされる方、皆様思いのペースでゆっくりと楽しまれています。

いまだ、一定の外出制限を設けているため、少しでも気分転換になっていたければ、と願っての開催でした。皆様に楽しんでいただけたよう、ホッとしています。

引き続き、入居者の方々に楽しい時間を過ごしていただくように、職員一同努めてまいります。



ケアプラザ新居浜

「薬剤耐性菌感染予防」 についての講習会」

総務課

8月23日（水）、住友別子病院から感染管理認定看護師の藤井克匡様を講師にお迎えして、薬剤耐性菌の感染予防講習会を実施しました。

感染リスクを抑えるには施設全体の取り組みが重要であるため、介護士、看護師、事務職など多職種の職員が参加し、講義とともに使い捨てエプロン着脱の実演を交えていただくなど、実践的な講習となりました。



講習会の様子

講師のトーク力もあり、わかりやすく勉強になる講習会でした。施設内の感

染リスクは新型コロナウイルスだけではなく、ということを改めて肝に銘じながら、感染予防の意識を高めていきたいと思えます。

「施設における実習」

総務課

8月30日（水）、看護師を目指す23人の看護学校生徒さんの施設内実習を受け入れました。

施設長からは、福祉と医療の違い、施設での介護・看護の概要についてお話をさせていただきました。

その後、施設内見学を行い、リフト操作の実習では、リフト操作をす



リフト操作の実技体験

る側とされる側を、それぞれ生徒さんに体験していただきました。可能性に満ちた若い

方々の熱心な眼差しに触れて、私たちも良い刺激を受けました。

ケアプラザ宇土

「チーム対抗！」

風船バレー大会

行事運営委員会

9月27日（水）、施設内「ミニニ

ティホールで、毎年恒例の「風船バレー大会」を開催しました。



これまで は、バレーボールのルール通り3回以内で相手コートに風船を返すこととして

いましたが、今回は、床に風船が落ちなければOKとしました。その結果、ラリーが長く続き、参加された皆様の風船にふれる機会が増え、大会は大きな盛り上がりとなりました。久しぶりの屋内での施設行事に、入居者の皆様も笑顔一杯で楽しい時間を過ごされました。

「納涼音楽祭」

行事運営委員会

8月2日（水）、童謡・唱歌歌手の「そが みまこ」さんをお招きし、納涼音楽祭を開催しました。

そがさんは、日本から世界へ、日本の伝統の歌「童謡」を広げる活動を積極的に行われており、童謡・唱歌の歌唱指導をはじめ、各地でのコ

ンサートや海外ツアーなど幅広く御活躍中です。

今回は「手のひらを太陽に」「涙そうそう」「見上げてごらん夜の星を」等、8曲を披露していただきました。

入居者様から、「さすがプロの歌手だ。歌声がすごくきれいだった。」「最高だった。また聞きたい。」との声、多数聞かれました。

令和2年以降、新型コロナウイルス感染防止のため、外部の方々をお招きしての施設行事を見合わせてお



りました。これからも感染防止対策を実施し、たうえで、多方面の方々のご協力も得ながら、入居者の方々が楽しいひと時を過ごすことができますよう努めてまいります。